

視 察 調 査 報 告 書

委 員 会 名	文教生活常任委員会
参 加 者	委員長 井手瀬 絹子 副委員長 神谷 寿広 委 員 新免 悠香 野々山 雄一郎 野本 篤 加藤 嘉哉 中根 武彦 江村 力 太田 俊昭
視 察 日 時	平成 29 年 1 月 19 日（木） 9：30～11：30
視察先・概要	埼玉県川越市 人口：344,016 人 世帯数：147,103 世帯 面積：109.13 k m ² 特記事項：住みよさランキング 2016（東洋経済）総合 502 位 （安心 750 位、利便 588 位、快適 90 位、富裕 136 位、住居 615 位）
視 察 項 目	「ウェスタ川越」について
視 察 概 要	1．事業の目的 埼玉県及び川越市が共同し、地域の活性化やにぎわいの創出を図ることを目的に、地域産業の振興に加え、市の文化芸術の振興や地域住民の活動・交流を促進するための複合拠点施設として整備。 2．事業の経緯 ・平成元年 1 月 「埼玉県中期計画」に主要施策として「地域産業文化センターの整備を公表 ・平成 2 年度 建設予定地を川越市に決定 ・平成 20 年度 P F I 事業者公募・選定 ・平成 21 年度 P F I 事業者が指名停止により失格（22 年度より直営に方針変更） ・平成 23 年度 設計（公募プロポーザル） ・平成 24 年 12 月 建設工事着工 ・平成 27 年 3 月 竣工 3 月 23 日より順次供用開始 3．用地概要 ・所在地：川越市新宿町 1 丁目地内（川越駅より徒歩約 5 分） ・事業用地面積：22,354 m²（公共施設 14,696 m²、民間にぎわい施設 7,658 m²） ・土地の所有形態：県・市共有（各持分 2 分の 1） 4．公共施設概要 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 2 階、地上 6 階建 延床面積：約 40,000 m²（県：約 10,000 m²、市：約 13,000 m²、共有部：約 17,000 m²） 5．公共施設建設費

- ・建設費総額：約 157 億 7 千万円（外構含む）
- ・市施設建設費：約 94 億 3 千万円
- ・県施設建設費：約 63 億 4 千万円

6．主な市施設

(1) 文化芸術振興施設（大ホール）

約 1,700 人収容できる大型ホール。劇場型ホールとして、オペラやミュージカルなどの音楽イベントのほか、能、狂言、歌舞伎、日本舞踊などの伝統芸能や、高度な演出を伴う演劇など様々な演目に対応。

(2) 市民活動・生涯学習施設（活動室 5、会議室 5、音楽室 3、和室、情報コーナー等）

市民の自主的な学習活動を支援し、市民活動の場や生涯学習の機会を提供。

(3) 男女共同参画推進施設（研修室 4、相談室 2、交流サロン）

様々な男女が共に自立し、あらゆる分野に対等に参画できるよう、支援を行っていく男女共同参画のための拠点施設

7．公共施設の管理運営

(1) 指定管理制度の導入

県と市で同じ指定管理者を指定することにより、一体的な施設管理を行える体制とし、より効率的、効果的な管理運営を目指す。指定管理対象外の市直営の維持管理についても別途委託により一体的な管理を行う。

(2) 指定管理者

N e C S T（日本環境マネジメント㈱ほか）

(3) 指定管理料等（平成 28 年度予算）

指定管理料約 2 億円、市直営施設維持管理約 800 万円、光熱水費約 6,500 万円

8．平成 27 年度利用状況

(1) 大ホール（平成 27 年 7 月供用開始）

利用者数：177,499 人（1 日当たり約 700 人）

日稼働率：72.5%（最大月 86.7%（11 月））

利用件数：206 件

(2) 市民活動・生涯学習施設、男女共同参画推進施設

利用者数：104,882 人（1 日当たり約 290 人）

日稼働率：64.7%（最大月 81.1%（11 月））

利用件数：5,498 件

9．課題、今後の展開

利用者からの意見に対し、必要性、緊急性を勘案しながら対応を進め、利用者の満足度をさらに高め、多彩で魅力ある公演やイベントの実現等により、来館者数を増加させ、地域の活性化を図っていく。

所 感 視察しての感想 や岡崎市への提 言など	・県と市が共同し、市の文化芸術、住民の交流の場を促進していることに大変興味を持った。P F I や指定管理については、市としてノウハウが効果的な管理運営につながるとし、指定管理者を指定した。今後の公共施設の運営管理には一考を要する。 ・県と市が共同で整備した複合施設なだけあって1カ所で様々なことが完結することは市民にとってプラスだと思う。(証明センター→パスポートセンター、創業支援→商工団体加入→県税納税等)本市は市民会館を改修したばかりだが、ウェスタ川越は基本構想から竣工まで25年かかっているの、次の市民会館を考えたときにはウェスタ川越が一つの参考に大いになると思う。都心から30kmでも一流の興行ができるのはそれ相応の設備を備え、立地条件も良いからだと思えてとてもうらやましかった。交流広場もマンホールトイレ×3とかまどベンチ×1を備えており、駅近での災害拠点としても良く考えられている。 ・主要駅からアクセスが良く、県、市が共同し地域の活性化を図ることを目的としたワンストップの可能な施設であり、敷地内の民間施設との関係でにぎわいを演出する中核都市における公民連携の成功例である。本市ではこれらの施設が市内各地に点在しており、そのまま参考にはできないが、ならば点在する施設を結ぶまちづくりの必要がある。また、民間施設の選定において、保育所、郵便局、医療関連、文化教室などの要素が重要な基準となっていく必要性を感じた。 ・大ホールから起業支援のレンタル事務所、商業施設も敷地内に併設された、まさに地域の拠点施設といえる大きな存在感であった。市と県が連携をし、市民に施設のはしごをさせない、市民のことをよく考えたワンストップ戦略に感心した。備品の細部にも知恵や優しさを感じた。当然ながら大きな建設費用であるが、対応いただいた担当者の「市民自慢の施設です」と堂々とした説明にまた感心した。本市にも市民が誇れる品質の良いものをつくるべきと考える。 ・県、市と連携して、ワンストップとして手続きが出来るなど非常に便利で感心した。見習うべき施策がたくさんあり、非常に参考になった。 ・うらやましいかぎりである。ホールは全国大会ができる1,700席は必要であることを痛感した。指定管理制度を導入してうまくいっているように思えたが、できればPFIでやった方が市のためになる(予算面で)と感じた。PFI、指定管理者等の導入を施設に応じて積極的にしていくべきだと強く感じた。 ・施設としてはすばらしい。管理運営は指定管理としているが年間の管理費は約2億7000万円必要である。必要経費と思えば納得がいく。本市でいえば、シビックセンターと市役所が一緒になったような施設だ。ただ、管理運営について企業コンサルタントの知恵も取り入れる必要があると思う。 ・川越市・埼玉県の共同事業として、川越駅西口に開設した、地域産業、文化芸術の振興や市民活動の拠点となる市・県・民間事業者による複合
---	--

	施設である。証明センターや活動室などの市の施設、創業支援ルームや地方庁舎などの県の施設商業施設などの民間施設、交流広場などで構成され、ワンストップサービスが図られている。P F I 事業から直営に方針変更しスピーディーに事業進め、指定管理者で運営。大ホールは 1,700 席で最新鋭の設備を備え、オペラや歌舞伎などあらゆる舞台に対応している。日稼働率は 72.5% でアンケートでも快適・よかったが 90%、年間 200 万人の利用者が見込まれ、民間事業者との相乗効果となっている点がすごい。今後の市民会館建設の在り方（規模・内容）東岡崎駅北東街区の民間活力にあたっての考え方を参考としてもらいたい事業である。
委員長の総括	平成 27 年春にオープンした「ウェスタ川越」は、川越駅西口に位置し立地条件の整った複合拠点施設で川越市・埼玉県・民間事業者が整備をしたものである。市と県が同じ指定管理者を指定し、民間の創意工夫、ノウハウの活用が図られている。稼働率も大変高く使い勝手のよさが理解できた。創業支援ルームは全 25 室、利用料金も低料金で満室であり、同階に商工会議所、法人会、信用保証協会等も入居しており、総合的なサポートができるようになっており感心した。大ホール、リハーサル室、交流支援施設、市民活動、生涯学習、男女共同参画、子育て支援ルームとどれもしっかりと活用されていた。何ととっても立地がよく、多くの機能が 1 カ所に集約されており、また、指定管理のノウハウが運営に生かされている。特に文化芸術振興施設は中途半端ではなく、多種多様な演目に対応できる本格的な整備が大変重要であることを痛切に感じた。